

● 幼稚園教諭一種免許状取得のための履修基準

施行規則に定める科目区分等		必要 単位数	授 業 科 目 名	単位数	
科 目 区 分	各科目に含めることが必要な事項			必修	選択
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	子どもと健康	1	
		人間関係	子どもと人間関係	1	
		環境	子どもと環境	1	
		言葉	子どもと言葉	1	
		表現	音楽表現Ⅰ 音楽表現Ⅱ 造形表現Ⅰ 造形表現Ⅱ	1 1 1 1	
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	16	保育内容－表現Ⅰ	1	
			保育内容－表現Ⅱ	1	
			保育内容－表現Ⅲ	1	
			保育内容－健康Ⅰ	1	
			保育内容－健康Ⅱ	1	
保育内容－人間関係Ⅰ	1				
保育内容－人間関係Ⅱ	1				
保育内容－環境Ⅰ	1				
保育内容－環境Ⅱ	1				
保育内容－言葉Ⅰ	1				
保育内容－言葉Ⅱ	1				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	10	教育学原論	2	
			教師論	2	
			教育制度論	2	
			教育心理学	2	
			特別支援教育	2	
			カリキュラム論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） 幼児理解の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	4	教育の方法及び技術	2	
			幼児理解	1	
			教育相談	2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前事後指導Ⅰ 教育実習事前事後指導Ⅱ 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教育実習Ⅳ	1 2 2	1 2 4
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習（保・幼）	2	
大学が独自に設定する科目		14	観察参加Ⅰ 観察参加Ⅱ 国語（書写を含む） 生活 子ども家庭支援論 子どもの健康と安全	1 1 2 2 2 1	
合 計		51		45	14

※ 1 幼稚園教諭一種免許状を取得するためには、学士の学位を有するとともに、本表に示す必修科目45単位及び選択科目6単位以上として、合計51単位以上修得しなければならない。

※ 2 「大学が独自に設定する科目」の必要単位数14単位以上については、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」において、必要単位数を超えて修得した単位数を含めることができる。

※ 3 この表に示す他、全学共通科目から「日本国憲法（2単位）」「情報基礎演習（1単位）」「情報応用演習（1単位）」「健康とスポーツ（2単位）、健康とスポーツ実習（1単位）から2単位」「英語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ（各計2単位）から1外国語2単位」を修得しなければならない。